

図書を活用した学習活動を

学校図書館は、「学校教育において欠くことのできない基礎的な設備」（学校図書館法第1条）であり、その目的は、「学校の教育課程の展開に寄与する」とことと「児童または生徒の健全な教養を育成すること」（同法第2条）であると、書かれています。

学校図書館は、単に本が置いてある部屋ではなく、「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を効果的に活用してよりよい教育活動を行うための教育施設でなくてはなりません。とはいえ、ますます忙しくなる教育現場です。少し力を抜いて、子どもたちと一緒に「なぜだろう?」「どうしてだろう?」という思いを共有しながら、教科等での読書活動を楽しまれてはいかがでしょうか。先生がワクワクすると、子どもたちもワクワクすることでしょう。読書活動から身に付く力は、ゆるやかに子どもたちの力となって表れてきます。

学習指導要領には、低学年は「楽しんで読書」中学年は「幅広く読書」高学年は「進んで読書」さらに、中学1年も「進んで読書」中学2年は「読書を生活に役立てる」中学3年は「読書を通して自己を向上させる」とあります。

☆ 並行読書での学校図書館資料の使い方

「教科書教材でどうぶつのあかちゃんについての説明文の学習をし、自分のすきなどうぶつのあかちゃんについて調べる」「すがたをかえる大豆についての説明文の学習をし、他の食べ物について調べて説明文を書く」「メディアに関することについて調べ、意見文を書く」などの学習で、教科書で学習したことと並行して関連図書を読んだり、教科書教材と同じ著者の本を読んだり、同じテーマの本を読むなど、読書生活をより豊かにするための並行読書は、教科書教材の理解を深めていくことにもつながります。

☆ 学校司書や司書教諭の授業支援

学校図書館法は、12学級以上の学校で司書教諭は必置であり（第5条）、学校司書は「置くように努めなければならない」（第6条）、とあります。

学校司書や司書教諭の仕事の一つに授業支援があります。学校司書、司書教諭の専門的な知識を活用し、ぜひ、学習指導に生かしましょう。

学校現場では、学習に必要な資料を学校司書や司書教諭に選定してもらうことがあります。また、福岡市では、「学校図書館支援センター」に依頼されることもあります。また、授業の展開の中で、学校司書や司書教諭、さらには「学校図書館支援センター」の公共図書館司書に選んでもらった資料の紹介をしてもらうのも、授業支援として効果的です。

並行読書の授業プランの例

※国語科学習を中心に紹介します。

1年生単元名「おはなしのすきなところをしょうかいしよう」

中心学習材「ずうっと、ずっと、だいすきだよ」

2年生単元名「レオ＝レオニのおはなしひろばをつくろう」

中心学習材「スイミー」

3年生単元名「自分の『ことわざ辞典』を作って、紹介し合おう」

中心学習材「ことわざ・故事成語」

4年生単元名「物語の名場面・かくれ場面集を作ってはっぴょうしよう」

中心学習材「ごんぎつね」

5年生単元名「声にだして楽しもう」

中心学習材「古典の世界（一）（二）」

6年生単元名「絵の解説文を書こう～絵から読み取ったこと、かんじたことを表現しよう～」

中心学習材「鳥獣戯画」

中学1年生単元名「〇中1学年『読書甲子園』開催！」

中心学習材「少年の日の思い出」

中学2年生単元名「読書で絆交流！ブックボード」を作ろう！」

中心学習材「盆土産」

中学3年生単元名「文豪作品の批評に挑戦しよう！～小説を批評し、もの見方や考え方を深める～」

中心学習材「高瀬舟」

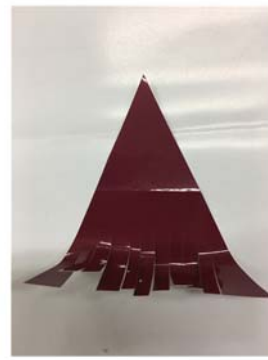
「単元を貫く言語活動を支える 並行読書の授業プラン」より



本の帯を使った11月の展示・掲示

帯を使ったツリー
いろいろ

帯はツルツル光った紙が多く使われています。その帯を使ってクリスマスツリーを作ってみましょう。図書館が明るくなり、読書が楽しくできそうです



段ボールを木の形に切り，その上に、帯で作った色とりどりの紙を貼ると、色鮮やかなツリーが！



帯を細く短冊に切り，真ん中をのり付けします。色とりどりのリボンができ，かわいいツリーの出来上がりです！

おすすめの本 ツリー
本の帯で作ったツリーに
おすすめの本の題名を書いて
おきましょう！



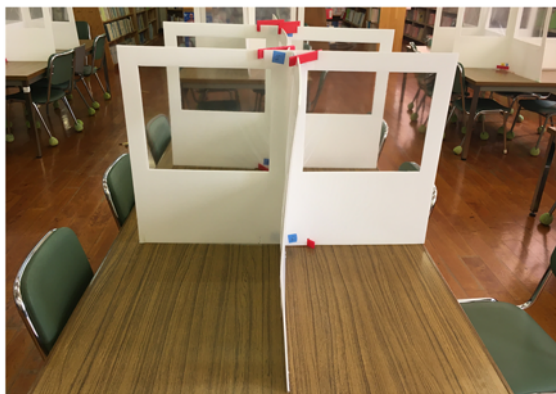
Hello! 学校図書館

今月は、早良区にある百道浜小学校の図書館を紹介します。
百道浜小学校は福岡タワーのすぐ横にあり、全校児童数473人、17学級の学校です。
訪問した際は、金木犀の香りに包まれ、秋の風が心地よい中、校長先生が笑顔で迎えてくださり、図書館まで案内していただきました。子どもたちのあいさつがすばらしく、大変すがすがしい気持ちになりました。

「図書室へようこそ」の言葉に迎えられました。廊下の書架をうまく使われています。



新型コロナウイルス感染防止のための安全対策の工夫



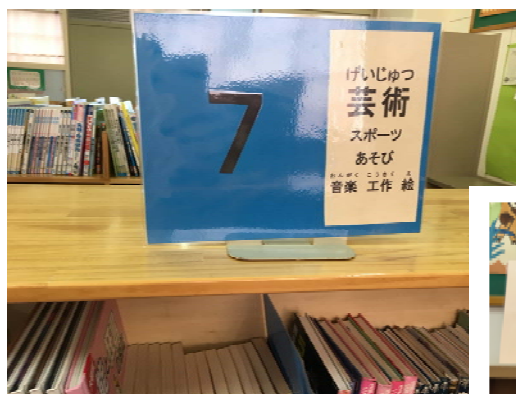
手作りのボードは取り外しができ、子どもたちが安心して読書をしたり、調べ学習をしたりしやすいように工夫されています。

情報センター・学習センターとしての役割が分かる工夫



読みやすい新聞コーナー，調べ学習で学んだことなど，さまざまな情報を得やすいように工夫されています。

子どもたちが本を選びやすい（借りやすい）配架の工夫



図書館のどこにどんな本があるのか，分かりやすく配架されています。特に、「図書委員のおすすめの本」のコーナーはすてきです。図書委員会の子たちの活動のがんばりがよく見えます。

11月生まれの文学者

武田 美穂（たけだ みほ）と「ますだくんとまいごのみほちゃん」

東京都 1959年12月28日 生まれ

1986年「あしたえんそく」で作家デビューした武田氏の小さい頃は、家に絵本があまりなく、「岩波の子どもの本」シリーズなどを弟と一緒に読んだくらいでした。絵を描くのが大好きで、幼稚園の頃から見よう見まねで紙芝居をつくり、小学校ではよく絵を描いていました。

本格的に絵本と出会い絵本作家を目指すようになったのは、大学を中退してアルバイトで図書館の子ども室の担当になった時、毎日、絵本の読み聞かせをする中で、「絵本は自由度の高い表現媒体で、いろいろな可能性を秘めている。」と思えたからでした。

武田氏は、絵本を通じて子どもたちに「明日はいいことあるよ」というメッセージを伝えていくことが子どもたちの生きる力となる、と思っているそうです。

絵本や挿絵以外にキャラクターデザインを手がける武田氏の作品は、「となりのせきのますだくん」（絵本にっぽん大賞，講談社出版文化賞絵本賞受賞）などあり、他の作家と一緒になっつくった作品も多くあります。



北村 薫（きたむら かおる）と「空飛ぶ馬」

埼玉県 1949年12月28日 生まれ

北村氏は、6歳の時、父親から買ってもらった「イソップ」の絵物語がおもしろく、子どもの頃は、物語の中に入り込んで本を読んでいた。

大学卒業後、高校の国語の教師をしながら、1989年連絡がつかない覆面作家として「空飛ぶ馬」でデビューしました。覆面作家としたのは、他社から原稿依頼がきても応じきれず断ると、「新人なのに生意気なやつだ。」といわれるかもしれないと思ったからだそうです。

「空飛ぶ馬」は、東京創元社が新しい創作ミステリーのシリーズを立ち上げることになり、編集者から「おまえも1本書け」と言われ、ひと月に一遍ずつ書いていき出来たのが、このデビュー作です。

北村氏の作品は、「夜の蟬」（日本推理作家協会賞受賞）、「ニッポン硬貨の謎」（本格ミステリー一大賞受賞）、「鷲と雪」（直木賞受賞）などあります。

（あとがき）

季節外れの暖かさが続いています。美しく色づいていた葉もいつしか落ち葉になり、冬の訪れを感じます。子どもたちも室内で過ごすことが多くなったのではないのでしょうか。学年の折り返し地点を過ぎた子どもたちに、少し難しい本の読書に挑戦して読書の楽しさを実感してほしいものです。学校、学級またはそれぞれの家庭で「読む」を育てていきましょう。（足立）

図書館員のひみつの本棚 第175回

今月は写真集のご紹介です。

『南の島』『北の島』 長倉 洋海／著 偕成社 2011年 ¥1800 (税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年★★★ 中学生★★★
高校★★★ 一般★★☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

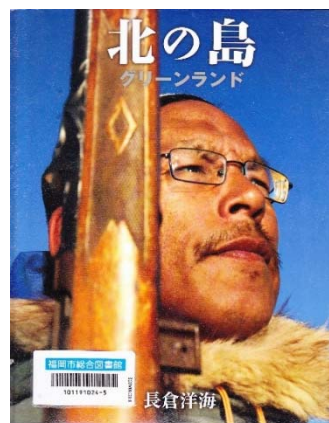
一人の写真家が撮った2冊の写真集です。『南の島』は、ミクロネシア最南端の島で海面上昇により海に沈みゆくカピングマランギ環礁を、『北の島』は、グリーンランドで人類が住む最北の町カナークを撮影しています。

どちらも美しい自然と、人々の暮らしが写された写真集ですが、どちらの島も環境破壊の影響を受け、人々の生活は急激に変化しています。巻末にはそれらのことが著者自身の文章で綴られており、美しい写真だけでなく、できればそこも読んでもらいたい本です。

<子どもに手渡す時のポイント>

2冊は同じ大きさとページ数で開きが逆になっています。1冊ずつ見ても心を打つ写真集ですが、2冊並べて同時にページをめくっていくと、1冊の時とはまた違う感動があります。ぜひ、2冊一緒に手渡してください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。



発行： 福岡市教育委員会 総合図書館 図書サービス課
電話： 092-852-0639
FAX： 092-852-0801